

小学校 中学年

言語活動 「互いの考えを伝え合い、
自らの考えや集団の考えを発展させる」

育成したい
言語の能力

考える力：発表されたいろいろな考えを基に、自分の考えをまとめる。
表す力：体験を通して考えたことを話す。

教材等の例

役場	<ul style="list-style-type: none"> 古い建物なので2階に行くためのエレベータが必要だと思った 車いすの人が通るには通路がせまかったので通路を広くした方がいい
スーパー	<ul style="list-style-type: none"> 高いところは商品がとれない物があった 店に入るところのだんが大変だったからなくした方がいい
駅	<ul style="list-style-type: none"> 階段は運んでもらわないといけないので、何とかした方がいい 車いすの人が使えるトイレを作った方がいい

単元名等

4年 総合的な学習の時間「目指せ、バリアフリーの街」 18・19時間目/20時間

本時の目標

いろいろな場所での車いす体験を基に考えたことを交流し、生活しやすい街作りについて自分の考えをまとめる。

本時の流れ

伝え合う

車いす体験から考えたことを交流する。
自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりする。

指導の工夫

自分の行った場所(役場・スーパー・マーケット・駅)での車いす体験を基に、街の中で変えていくところを考えてノートに書く。

発展させる

生活しやすい街作りについて考える。
発表された考えを基にして、生活しやすい街作りについて自分の考えをまとめる。

発表された考えの中で多く共通している点に着目して、自分の考えをまとめる。

- 少しのだんさもできるだけなくしていった方がいい
- 道にしっかり歩道をつくれれば、すべての人のためになる
- 階段を使わないと行けないようなところは変えていく必要がある
- 車いすの人がこまったときに、すぐに対応できるようにしておく必要がある